

広島県大崎上島町生野島に「軽消防自動車」を寄贈

～東野文化センターで寄贈式を開催～

日本損害保険協会（会長：城田 宏明）では、地域の防火・防災力強化を目的として、全国の市町村および離島に軽消防自動車を寄贈しています。2024年度に寄贈する軽消防自動車9台のうち1台が広島県大崎上島町生野島に寄贈されることから、2月27日（木）に同町の東野文化センターにおいて、関係者出席のもと、寄贈式が開催されました。

寄贈式では、当協会の伊豆原常務理事から谷川 大崎上島町長に目録およびレプリカキーを手渡し、軽消防自動車を寄贈しました。伊豆原常務理事からは「今回寄贈する軽消防自動車は狭い道路での消火活動に機動的に対応できるので、地域の消防・救命体制の整備の一助としてほしい」との挨拶があり、谷川町長からは、「生野島は大崎上島から更に船で渡らなければならず、災害発生時の迅速な対応のために消防資機材を配備する必要があります。町の財政事情が厳しい中、最新の消防機材を寄贈いただき感謝する」と謝辞がありました。

当協会では、消防資機材の寄贈や防火ポスターの作成など、防火・防災事業を通じて、安全で安心な社会づくりに貢献してまいります。

【ご参考】

- ・軽消防自動車など消防資機材については、防災事業の一環として、1952年度から全国の市町村（離島除く）に、1982年度から離島に毎年寄贈しています。
- ・今年度の寄贈により、消防資機材の累計寄贈台数は3,521台となります。
- ・軽消防自動車は、軽四輪駆動車をベースとし、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応でき、迅速な消火が可能です。



伊豆原常務理事（右）からレプリカキーを受取る谷川町長（左）



谷川町長のご挨拶



寄贈された軽消防自動車



出席者で記念撮影